

日本史(24)「国際関係の変化 ～唐の滅亡と東アジアの再編～」

○今回のポイント

東アジアの政治と文化の中心であった唐が滅亡すると、東アジアの国際秩序は再編へと向かい、宋と周辺民族の攻防が繰り広げられた。

唐	渤海	新羅	894	遣唐使派遣を中止
907			907	唐滅亡
	916		916	遼建国
五代十国		918	918	高麗建国
	926	935	919	渤海使が来日
			936	高麗、朝鮮半島統一
960			960	宋(北宋)建国
			979	宋、中国を統一
			983	裔然、宋に渡る
			986	裔然、帰国
宋(北宋)	遼(契丹)	高麗	1019	刀伊の来襲
			1072	成尋、宋に渡る
			1094	藤原伊房ら、遼との私貿易で処罰
			1105	宋人、博多に来航
			1115	金建国
1127			1116	宋から牒状が来る
南宋	金			



(1)9世紀の国際関係

①新羅との関係

- ・ 8世紀末 → [1. 新羅使]の断絶
- ・ 9世紀前半 → 新羅の商人は貿易のために来航。

②唐との関係

- ・ 9世紀後半：唐商人来航。朝廷は貿易の仕組みを整え、[2. 書籍]や[3. 陶磁器]等工芸品を輸入。

↓

- ・ 遣唐使中止

・ [4. 894]年 遣唐大使[5. 菅原道真]「唐は既に衰退しており、多くの危険をおかしてまで“公的”な交渉を続ける必要がない」

私的な交易は続けられているので注意！

(2)10世紀 東アジアの再編

■ [6. 907]年 唐滅亡

↓

■ [7. 五代十国時代]の開始 … 諸王朝が興亡

↓ ・ 江南[8. 呉越]国(都：杭州)からは日本に商人が来航して江南の文化を伝える。

■ 960年 [9. 宋]建国

・ 日本は宋と「正式な」国交を開こうとはしなかった。

※ [10. 東アジアの動乱]や中国中心の外交関係(11. 朝貢関係)を避けるため。

(3)日宋交流

■宋とは正式な国交はなかったが私的な交易関係は続く。

①九州の[12. 博多]に宋の商人来航

- ・ 輸入品：[13. 書籍]や[14. 陶磁器]などの工艺品、[15. 薬品]など
- ・ 輸出品：[16. 金]、[17. 水銀]、[18. 真珠]、[19. 硫黄]など

※金は奥州の特産であったことから、奥州への関心が高まる。

・ 当時の交易が描かれている史料

- ・ 11世紀に成立した『20. 新猿楽記』⇒「商人の主領」として描かれた人物が、東は「俘囚の地(奥州)」から西は「貴賀(勅)の島」(九州の南)にわたって活動し、唐物や日本の多くの品々を取り扱ったと記されている。

②日本人の渡航

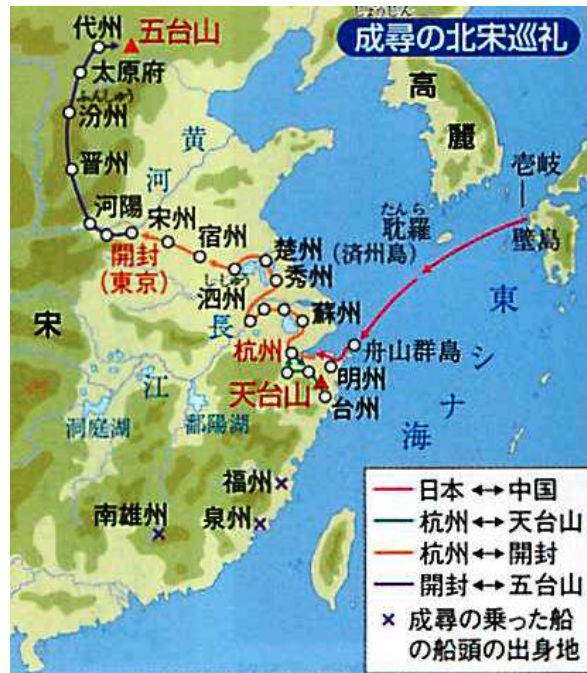
- ・ 原則として律によって日本人の渡航は禁止。
- ・ [18. 天台山]や[19. 五台山]への巡礼を目的とする僧には許される場合がある。

・ [20. 奝然](ジョウネン)…太宗に拝謁し五台山を巡礼。宋版大蔵経を撰閲家、嵯峨に清凉寺を建てて、宋から持ち帰った釈迦如来像を安置した。

・ [21. 成尋](ジョウジン)…1072年入宋。経典等百数十巻を日本に送るが神宗の慰留を受けて中国で死亡。成尋の老母が、別離の悲しみと成尋の身に思いを馳せる心情を切々として詠歌に託した『22. 成尋阿闍梨母集』は日本の大学受験古文でたまに出題される。



清凉寺釈迦如来像



(4)周辺地域

①中国東北部情勢

- 10世紀前半 [23. 渤海]がモンゴル系[24. 契丹]族の[25. 遼]により滅ぼされる。
 - ・ 契丹支配下の沿海州地方に住む[26. 刀伊](トイ)と呼ばれる女真人は後に金を建国。

②朝鮮半島情勢

- 10世紀初め [27. 新羅]が[28. 高麗]に滅ぼされる

③日本との関係

- 日本や遼・高麗ともに国交を開かなかったが、高麗とのあいだには商人などの往来があった。